



令和8年
(2026年)
1月号
Vol.73

もとのま

(社会福祉法人愛の森広報紙/一般用)



[発行]社会福祉法人愛の森(厚木市森の里青山 14-2(Tel:046(248)5211)) [編集発行責任者] 國分 隆之

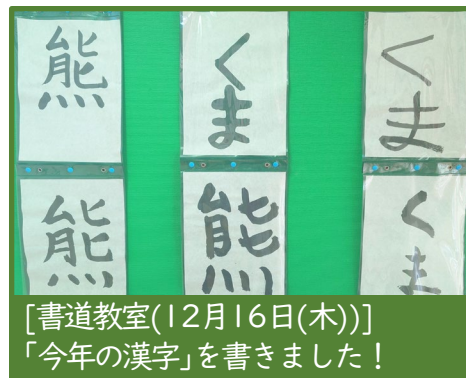
謹んで新年のご挨拶を申し上げます

今年は午年。

個性溢れる利用者さん、ご家族、役職員みな「ウマが合う」よう、
「ウマ年」らしく前向きかつ明るく行動する一年、

「ウマイ」知恵がたくさん「ウマれる」一年を目指します。

本年も、ご指導・ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



[書道教室(12月16日(木))]
「今年の漢字」を書きました!



令和8年 元旦

社会福祉法人愛の森

後援会長 神保 忠男

名誉理事長 濱田 八重子

理事長 國分 隆之

理事・施設長 遠藤 岳洋

役職員一同

利用者さん有志に、思い描く「午」
の絵を描いていただきました。

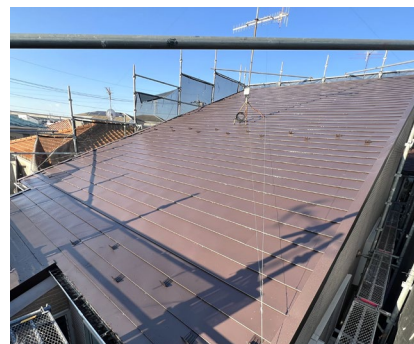
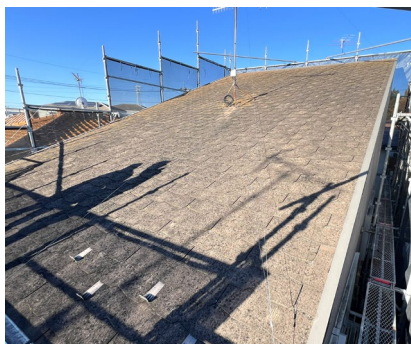
[大規模修繕!] GHあずさ寮の屋根等を全面改装! ~ 11月21日(金)~12月14日(日)

グループホームあずさ寮は、3軒あるGHの第1号として平成14年3月にオープン。当時は既存民家の利用が主流だったなか手頃な物件がなかったため、中村直利副理事長(当時)がオーナーとなって、グループホーム用の住居として新たに建設していただきました。

皆で大切に使ってまいりましたが、年月を経るにつれ老朽化も進み、今秋、ついに、雨漏りが…。急遽現オーナーさんに連絡し、大規模修繕をしていただくことになりました。

昨今の工事費高騰・職人不足という悪条件のなか、オーナーさんの「正月はきちんとした環境で利用者さんに迎えてもらいたい」という強く、そして有難いご意向のもと、工事事業者さんも全面協力。12月中旬には、修繕も完了。

オーナーさん・工事事業者さんに感謝しつつ、ほっと一息の年の暮れ! 利用者さん、世話人さんとも、よいお年をお迎えください!

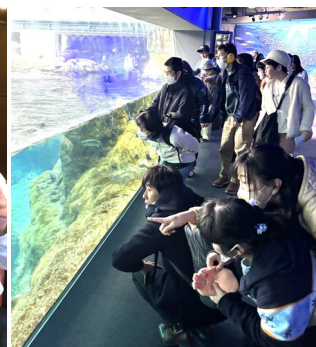


【旅行2題！】**通所・GH部門とも無事日帰り旅行を実施し、今年の旅行は予定どおり終了！****【通所旅行！】****新江の島水族館に行ってまいりました！：11月18日(火)**

日帰り旅行は、近年、県外(隣県)にも脚を伸ばすケースが多いですが、今回は、県内有名スポットでの企画ということで、通所利用者さん7名、保護者さん4名、職員3名の計14名で、茅ヶ崎・江の島方面に行ってまいりました。まずは最近できたというおしゃれな雰囲気「道の駅湘南ちがさき」へ。湘南を意識した海の幸の他に買い食いきそうなものも色々売っており、お昼前でしたが、思わずあんぱん等を購入する利用者さんも！

そしてメインの「新江の島水族館」。大水槽の中では色々な魚が泳ぎ、迫力満点。また、「クラゲゾーン」では、様々な形・色のクラゲに、みなさん、うっとり！ 定番のイルカショーも見物し、参加者一同、大興奮！

お昼は海鮮食堂「まるだい仙水」へ。アジしらす丼定食、サザエ丼定食等、海辺らしい食事を堪能し、江の島内を散策して帰りました。

**【GH旅行！】****横須賀で、バーベキューを楽しみました！：11月30日(日)**

今年最後となるグループホームチームの日帰り旅行は、利用者さん13名、役職員5名の総勢18名にて、横須賀「ソレイユの丘」にて、バーベキューを堪能しました。

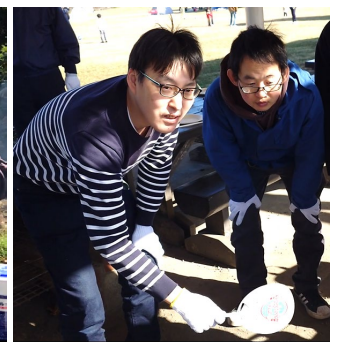
今回のBBQは「ただのBBQ」ではありません。火起こしから後片付けまで自分たちで全て行う体験型バーベキュー！ お店の方からは一通りの説明を受けますが、なかなか難しそう！

まずは火起こし！ 着火剤から炭に火が移りますと、皆で順番にうちわであおぎます。「煙たいよー」「腕が疲れた！ 交代！」などと口々に言いながら、まずは、飯盒でご飯を炊く工程へ。

火の勢いはあるのですが、季節のせいかなかなかグツグツとはいってくれません。途中でこっそり飯盒の蓋をあけ、炊き具合を見ながら、なんとか美味しく炊き上がりました。

そして、ようやく、お肉やソーセージなどを焼く番です。下味のついたお肉を網の上に乗せると「ジュッ」と良い音が。トングを使って、綺麗に並べて焼く利用者さん、大胆に置く利用者さんと、それぞれ個性が出る瞬間です。

焼きあがった順にそれぞれのお皿にとりわけ、「いただきます！」みなで助け合いながら火起こしから皿洗いまでを行ったガッツリバーベキュー大会。「今日は楽しかった、ありがとう」との声かけをいただく帰路では、職員の達成感もひとしおでした。



[劇団四季!] 日産労連さんのご厚意で、チャリティ公演のご招待! : 12月19日(金)

コロナ禍を経て6年ぶりとなりましたが、日産労連さん主催の「劇団四季クリスマスチャリティ公演@藤沢市民会館」にお招きいただき、観劇好きな利用者さん有志で行ってまいりました。演目は「カモメに飛び方を教えた猫」。ひょんなことから瀕死の母カモメから卵を託された猫。飛ぶことができない猫たちが、赤ちゃんカモメに、四苦八苦しながら飛び方を教えるストーリー。劇団員が演じるカモメや猫、ネズミやチンパンジーたちが織り成す愉快で感動的なミュージカルに、利用者さんも目が釘付け!

終演後のロビーでの劇団員さんたちのとのふれあいも観劇の魅力です。記念写真やハイタッチなどをしながら、年末のひとときを楽しみました。



[クリスマス会!] 入所、GH、通所、それぞれで盛り上がりました: 12月20日(土)など

入所部門は、2年ぶりに、近隣の式場「アマンダンヒルズ」にて、利用者さん、ご家族、職員総勢約80名参加のもと、賑やかなクリスマス会となりました。

皆さん一寸おしゃれをしておの会場入り後、まずはふれあい会(入所者自治会)会長、副会長によるご挨拶と乾杯の発声から。そして、普段から音楽の日課でお世話になっている甲谷・松本両先生の合唱指導・伴奏にて「きよしこの夜」と「赤鼻のトナカイ」をみんなで歌いました。

フルコースのお食事のあとは、バルーンアーティストさんによる風船七変化のご披露。利用者さんの座る席の目の前で、細長い風船が動物やお花などに早変わり! 完成したバルーンアートと共に、記念撮影も行いました。

会の最後には、今年の愛の森学園の1年を振り返るスライドショーをみんなで鑑賞。ご自身の写るスライドを見て、指をさしながら「あ、写ってる!」などと互いにこの1年のイベントなどを振り返りました。



そして…。通所・GH部門では…。

通所棟「ここゆめ」「なかなかおり」には、例年にも増して本格的な!?サンタクロースがやってきてみんなにプレゼントを配ってくれました!

3つのグループホームでは、夕食時にそれぞれチキンとやケーキなどが振舞われ、豪勢なクリスマスディナーとなりました。[写真は次ページ]



厚木ガス様から、今年もクリスマスケーキをいただきました！感謝！

[自閉症研修]

自閉症eサービス評価キットを用いての研修：10月29日(水)

学園では、ここ数年、自閉症の方へのアセスメントを充実すべく、取組みを進めています。今年も、自閉症の利用者さんに特化したサービスを提供している厚木ASD支援センターの坂口泰史様を講師にお招きし、研修を行いました。

坂口氏に研修をお願いするのは、今回で3回目。1年目は理論中心、2年目は坂口氏自らが学園の利用者さんに評価キットを用いてのアセスメントを実演していただきました。そのうえで今回は、利用者さん3名のご協力のもと、担当職員が実際に評価キットを使用している様子を動画で撮影し、坂口氏にご評価いただきました。

各担当職員が自ら評価キットを選択しアセスメントした様子を専門家から客観的に評価していただくことにより、これまでわからなかった利用者さんご本人の姿・様子が見えるようになってきた部分も大きく、利用者さんの強み(ストレングス=得意なこと)や苦手なことを(何が弱いのか、苦手なのか)も知ることができるようになってまいりました。

アセスメントは支援の基本です。本人が何を好み、何を苦手とするのか知ること、少しでも利用者さんの理解を深め、より良い支援に繋げていきたいと思います。



[基礎を学ぶ!]

「障がい福祉論」について、改めて基礎を学びました：11月27日(木)

中途採用や異分野からの転職も少なくない昨今、必ずしも採用時点では「障がい福祉」についての十分な知識がない職員もいます。そのようなニーズに対応すべく、今回、和泉短期大学教授で、当法人の評議員もお願いしている横川剛毅先生に、基本的な講義をお願いしました。

戦後からの制度の変遷にはじまり、知的障がいをお持ちの方と接する際に大切にしたいことの実践も含め、先生の実験の経験も踏まえてお話をいただきました。また、支援の現場では利用者さんとのコミュニケーションの採り方が重要ですが、それを念頭に、職員が2人一組となって、相手の話を聞きながら、上手に介入していく方法、などについて実体験するなど、現場経験の豊富な横川先生ならではの「基礎を学ぶ」ひとときとなりました。



○ 法人設立から間もなく40年。利用者さんの高齢化や施設の老朽化等が進むなか、私たちは、障害者総合支援法等に基づき国・自治体から支払われる報酬をベースに、出来る限りの経営努力を行いつつ、利用者さんの安全で楽しい毎日のための諸取組みを積極的に行っていきたいと考えています。

○ 一方、当法人の事業にご賛同いただき、ご支援いただける方からのご厚志はありがたくお受けしています。当法人では皆様からのご厚志(寄附金)は他の事業経理と区分して管理しています。皆さまのご厚志は、利用者さんの生活をより豊かにするためのサービス提供や、中長期的な施設建設積立てなどにのみ充当され、一般的な事業経費には流用されません。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【寄附金についてのご照会窓口：(福)愛の森総務課(Tel:046-248-5211(代表)、担当:武藤・國分)】

【寄附金受入管理専門口座：ゆうちょ銀行 / 記号 10950 / 番号 39350301 / 口座名義 ㌾㌾/アイ/㌾】

【領収証の送付手続き等もありますので、電話かメール(info@ainomori.or.jp)でのご一報も頂けると幸いです。】

